



連携室便り



発行日：平成23年7月
取手北相馬保健医療センター
医師会病院
—医療連携室便り—
—第23号—

成夏の候、貴院におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。いつも先生方には大変お世話になっております。

医療連携室では、連携室便りを通して先生方へ当院の情報を提供させていただきたいと考えております。

今後も当院をご利用して頂けますよう宜しくお願いいたします。



ごあいさつ

病棟再開いたしました。

昨年来医師退職、院内感染症の発生等により急性期病棟1棟を閉鎖していましたが、6月1日をもちまして全病棟再開棟となりましたのでお知らせします。当初4月に予定しておりましたが、東日本大震災の発生によりさらに遅れてしまい、先生方には御迷惑おかけしてしまったことお詫び申し上げます。新規体制としまして、東3病棟は従来通り外科、整形外科の手術例を主体とし、東4棟は内科病棟。南3病棟は、循環器・緩和ケア・内科／整形外科軽症例の混合病棟。南4棟は従来通り療養型病棟となります。まだフルオープンには至りませんが、先生方の御依頼に沿えるスムーズな入院体制になりましたので宜しくお願い申し上げます。

また、7月よりGE社製64列マルチスライスCTが稼働開始となります。

この度の導入にご理解を頂きました医師会員の皆様、ご支援を賜りました理事の先生に熱く感謝いたします。



従来の4列CTと比して鮮明な画像というだけでなく、coronary CT、注腸検査に代わる colonography、virtual scopy などが可能となります。共同利用施設ととして是非当院をご利用下さい。

院長 鈴木 武樹

64 列マルチスライス CT



この度、取手北相馬保健医療センター医師会病院に導入されました、最新型 64 列 CT についてご案内させていただきます。

まず、この度の導入にご理解を頂きました医師会員の皆様、ご支援を賜りました理事の諸先生に深く感謝いたしますとともに、実現までに多くの障害を共に乗り越えてきました。事務長や技師長はじめ職員各位また関係各社に御礼申し上げます。

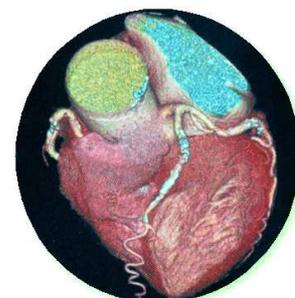
今回導入されましたのは、GE 社の最新型です。特に留意しましたのは、病院の性格を考え、汎用性と迅速性及びメンテナンス性や PACS システムとの相性の良さでした。と同時に高齢化社会や被爆への心配も考慮いたしました。

具体的には腹部や救急での実績、前機種の実績と職員の慣れ、小型され多列化(4 列から 64 列)にも関わらず、最も重要で痛みやすい管球が同容量であり低出力で、PACS と同じメーカーである点から GE 社製を採用いたしました。今回全面的に日本で開発され、小型で消費電力が少ない上、従来より高い画質ながら、かなりの被曝量軽減が実現されており、さらに車いすはもちろん、独歩のご高齢の患者さんに安全で楽なように検査台が非常に低くまで下がり、検査中の案内が大きな液晶表示で見やすくなり難聴の方にも親切な設計と成っております。多くの日本開発らしいきめ細かい心配りを有する優れた機械を生かすべく、小槻先生、佐藤先生のご尽力に遠隔読影を加え良質で迅速な読影体制を構築して参りました。それに加えまして冠動脈 CT も準備中でございます。

筑波大学循環器内科の絶大なご支援を頂き、専門家によるご指導と読影を頂けることと成りました。

まずは、少数の検査で十分なルーチンワーク手順の作成や画像作り込みのノウハウ蓄積をし秋頃までには一定の検査数を行えるように準備中でございます。その他にも CT 大腸検査など最新で患者さんにより優しい検査の導入に向け体制を整えております。準備ができ次第順次ご案内させていただきますので、是非ご利用頂けますようお願い申し上げます。

まずは、最新型多列 CT 装置導入のお礼と現状報告をさせて頂きました。再度関係各位に深く感謝申し上げます。



副院長 循環器センター長
渡邊 寛

常勤医師のおしらせ

入職

○ 萩原 謙(はぎわら けん)先生 外科

入職日 平成 23 年 2 月 1 日

日本大学消化器外科に所属し、専門領域は消化器外科一般、腹腔鏡手術、消化器癌化学療法です。腹腔鏡手術は日本内視鏡外科学会技術認定医として胆石や中垂炎のほか胃癌や大腸癌等も行い単孔式手術も行っています。

抗癌剤治療は数々の他施設共同試験に参加しエビデンスの確立に努めてきました。微力ながら当地域の医療発展のために貢献できればと考えております。御指導よろしくお願ひ申し上げます。

退職

○ 北條 暁久(ほうじょう あきひさ)先生 外科

入職日 平成 22 年 8 月 1 日

昨年 8 月より、こちらでお世話になっております。

震災の影響も一応の落ちつきを取り戻しつつある今日この頃ですが、医師会病院の地域医療に果たす役割の重さを改めて感じる日々であります。

入職から早一年が過ぎ、このたび 8 月 1 日より異動することになりました。

1 年という短い期間でしたが、ここで働いた経験を生かし、今後の糧としたいと思えます。いろいろとご指導、ご鞭撻ありがとうございました。

非常勤医師のおしらせ (診療科を順次ご紹介します)

○本間 覚(ほんま さとし)先生

平成 23 年 4 月 11 日付

○榎本 真美(えのもと まみ)先生

平成 22 年 4 月 1 日付

○金本 真也(かねもと しんや)先生

平成 22 年 4 月 1 日付

○町野 毅(まちの たけし)先生

平成 22 年 4 月 1 日付

○佐藤 藤夫(さとう ふじお)先生

平成 22 年 6 月 13 日付

循環器非常勤医師をご紹介いたします。

本間教授は循環器一般に加え心不全や肺高血圧、医療安全にとくに造詣が深い方です。

榎本先生と町野先生は本間先生と共に筑波大学循環器科の青沼和隆主任教授の下で循環器専門で厳しいトレーニングを受けた専門家です。

金本先生と佐藤先生は私も共に働かせて頂いた筑波大学循環器外科講師の方々と、循環器一般の他に先天性心疾患(金本)や血管疾患(佐藤)にとくに詳しい方々です。

他に外来診察は行っていませんが、心臓超音波断層法検査の第一人者である石津智子講師に超音波検査のご指導を仰いでおります。

循環器センター 渡邊 寛

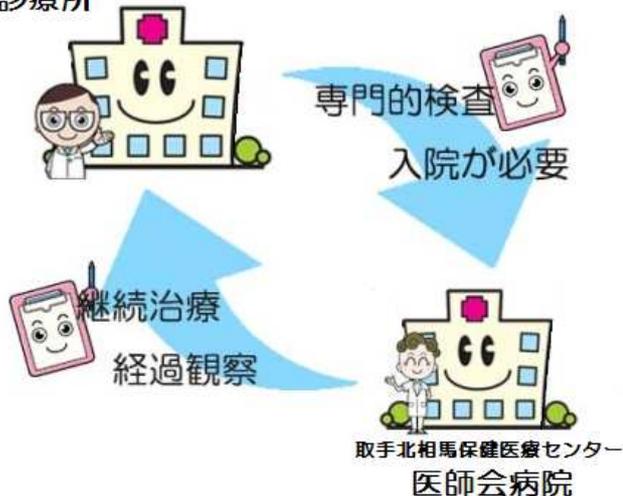
部署からのお知らせ

医療連携室

医療連携室は、地域の医療機関・福祉施設等と連携・協力をいただきながら、より良い医療を提供し、患者さんやご家族が安心して療養できるようお手伝いをさせていただいております。

4月より、医療連携室と医療相談室を統合し、相談業務の機能も充実させています。医療連携の窓口として紹介患者様の受診・検査・入院の予約、受診後の情報提供書等の発送、他医療機関受診予約の連絡を行っています。総合相談の窓口として医療ソーシャルワーカーによる退院調整、在宅療養指導・相談を賜わっています。連携いただいている先生方とは更に信頼を深め、地域医療に貢献できるよう努力していきたいと考えております。

診療所



編集後記

連日厳しい暑さが続いております。

今年は節電で大変ですが、扇風機や、うちわをパタパタ、風鈴の音に耳を澄ませ何とかこの暑さをしのいでいこうとがんばっております。

医療連携室では今後も、地域の先生方と情報交換をしながら、より良い連携業務を行っていきけるよう努力してまいります。

どうぞよろしく願いいたします。

編集：医療連携室

TEL:0297-78-6183(直通) TEL:0297-78-6111(代表)

FAX:0297-78-6184